



鈴木 みどり 議員
誠進会

問 男女共同参画の視点で避難所を

答 女性視点の意見を取り入れたい

問 1次・2次・3次と開設避難所があるが、避難生活が長く続く場合、どう対処するのか。

答 危機管理課長

プライバシーの保護、心身の機能の低下対策、避難住民主体の避難所運営や生活再建に向けた取り組みが課題となる。

問 避難所の設営について、自主防災会などに助言しているか。また、相談や報告は受けたか。

答 29年度自主防災会全体会にて「避難所運営マニュアル」を配布。今後も周知

を行い、実際に運営の組織が立ち上がるよう、学区の防災訓練などでも啓発する。

問 避難所設営のレイアウトはあるか。

答 避難所運営マニュアルに掲載。

問 防災会議での女性の割合は。

答 委員15人中1名。

問 女性防災会議を開催しては。

答 市長 女性の会などで、女性の視点で防災・避難所運営について議論し、意見集約してほしい。



問 社教センターの筏川浴にある風車と噴水はいつから止まってしまったのか。またその理由は。

問 風車と噴水の管理状況は

答 現状維持が望ましい

答 商工観光課長 風車は22年度を最後に行財政改革の一環として止めている。

問 噴水は23年度以降故障で出なくなった。外国製であり、部品が入手できず修理不可能。

問 市の管理は。

答 風車は回さず、緑地内の合併記念事業モニュメントとして管理している。

噴水は配電盤を撤去せず



▲モニュメントとして管理されているオランダ風車